

環境対応を強化したCTPの新機種を発売 ～消費電力の削減を図るとともにデザインを一新～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー(社長：藤澤 恭平)はこのほど、消費電力の大幅な削減など、環境への対応をさらに強化したサーマルCTP(=Computer to Plate)装置「PlateRite(プレートライト)8000Nシリーズ」を開発。国内をはじめ世界市場に向けて、本日から販売を開始します。

当社は以前から、各プレートメーカーが発売している各種ケミカルレスプレートへの対応による、CTPでの露光後に現像機で使用する薬液や消費電力の削減のほか、AM/FMハイブリッドスクリーニング「Fairdot」の使用によるインキ量の削減など、環境への取り組みを積極的に進めてきました。

今回発売する「PlateRite 8000Nシリーズ」は、これらの取り組みを継承しながら、高い信頼性と品質、さまざまなニーズへの柔軟な対応性などにより、長年にわたり世界トップシェアを獲得してきた当社サーマルCTP装置「PlateRiteシリーズ」の中で、最も需要が高いA4サイズ8ページモデル「PlateRite 8000シリーズ」の仕様面をさらに強化し、エントリーモデルからハイエンドモデルまでをラインアップしたものです。開発に当たっては、環境への配慮をさらに推進すると同時に、オートローダーなどの周辺機器とともに、スピード感と力強さを強調するデザインへとイメージを一新しました。「PlateRite 8800N-S」では、1版当たりの消費電力を最大28%^{※1}削減するとともに、1時間当たり36版^{※2}の高速露光を可能とし、生産性を最大12.5%^{※3}向上。加えて、新シリーズの各モデルとも、シグナルライトを標準搭載し、運転状況やアラームの発生状況を容易に確認できるほか、標準で最小プレートサイズ304×370mmに対応するなど、操作性と汎用性もさらに向上しています。

当社は、今回の新シリーズの発売により、印刷関連業界が直面する環境保護への取り組みに貢献するとともに、顧客満足度の向上を図り、同業界における地位をさらに強固なものにしていきます。

※1 PlateRite 8800S比(室温25°C、プレートサイズ1,030×800mm、2,400dpi時)

※2 プレートサイズ：1,030×800mm、2,400dpi時

※3 PlateRite 8800S比

<ラインアップ>

PlateRite 8800N-ZX/Z/S/E

PlateRite 8600N-Z/S/E

PlateRite 8300N-S/E

<販売開始日>

2010年1月28日



PlateRite 8800N-ZX

(シングルカセットオートローダーを接続した場合)

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。

(www.screen.co.jp/press/nr-photo/)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 メディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー ビジネス統轄部 マーケティングコミュニケーション課：
Tel 075-414-7610 Fax 075-417-2705 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目